

# HASHIMOTO 再開発～つなぐ景観～

## □コンセプト

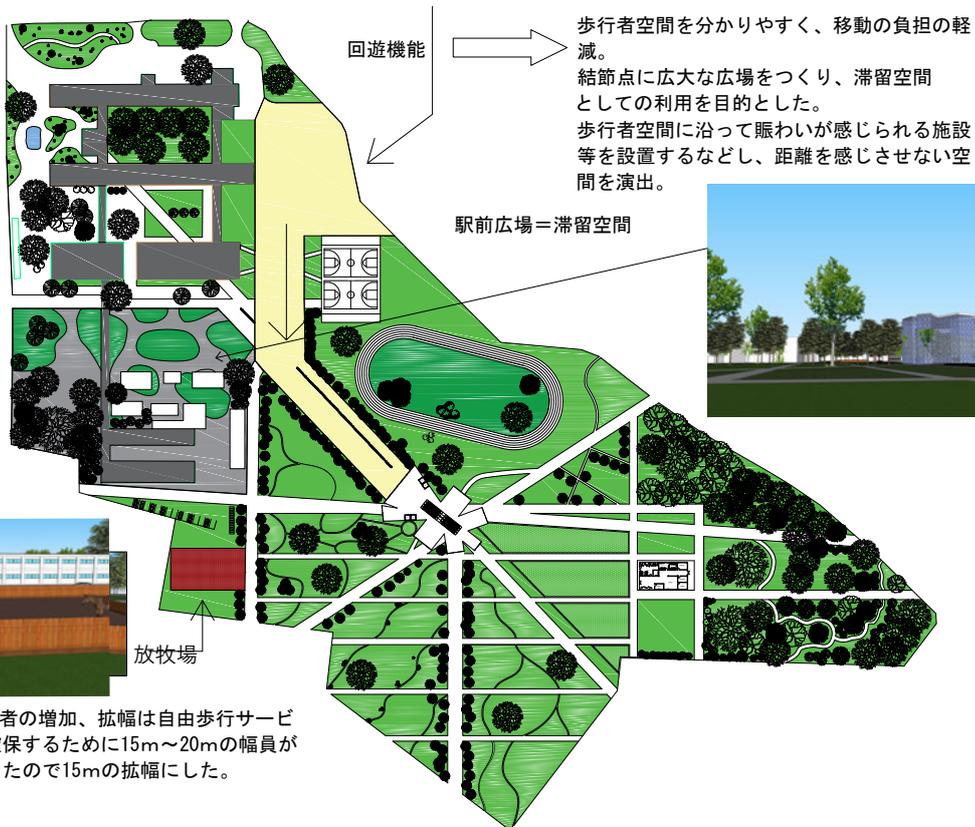
2027年橋本駅にリニア新幹線が開通。巨大プロジェクトの再開発に注目し、橋本駅周辺を調べてみると橋本にとって今回の敷地対象地である相原高校は重要な存在である、とわかりました。相原高校は広大な緑があり96年もの歴史があります。長らく市民に親しまれてきたのに現在発表されているゾーニングでは歴史的継承がないまま再開発が進んでいるため、この高校の景観を継承し、既存を生かしたデザインのありかたをデザインしました

## □プログラム

既存の活かし方はまず校舎、道、緑や放牧場ふれあい広場、畑、日本庭園、グラウンド。既存の畑→駅前でありながら近隣の小学校、中学校の農業体験が体験できるように新しくカフェ、更衣室、資料室、トイレといった施設も設計。放牧場→期間限定、休日だけ見れるように既存の畜産を残した。緑→森林や100年の楠をそのまま継承した。



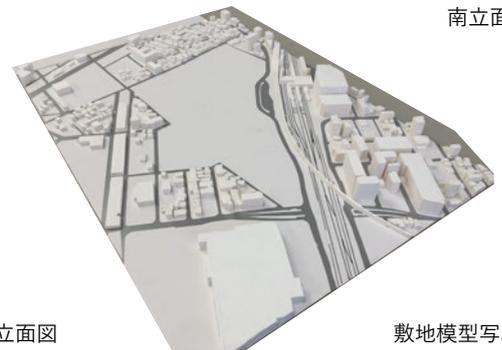
松永篤佳  
建築設計計画 | 研究室



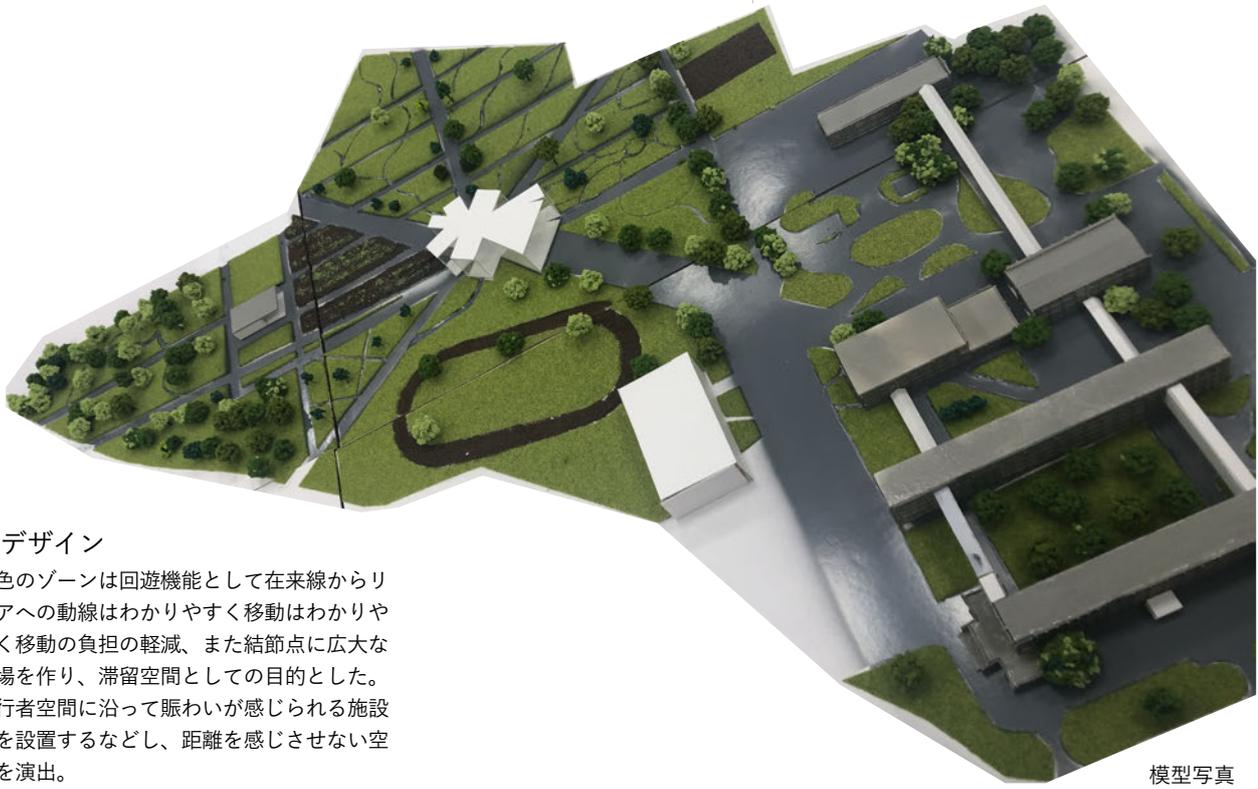
南立面図



東立面図



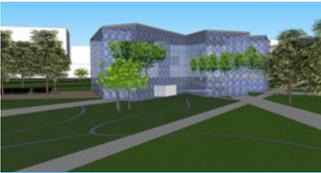
敷地模型写真



□デザイン

黄色のゾーンは回遊機能として在来線からリニアへの動線はわかりやすく移動はわかりやすく移動の負担の軽減、また結節点に広大な広場を作り、滞留空間としての目的とした。歩行者空間に沿って賑わいを感じられる施設等を設置するなどし、距離を感じさせない空間を演出。

模型写真



新しく設計した建物

